

令和5年度

金沢版総合戦略推進事業実績報告

金沢市では、企業様からのふるさと納税を活用し、以下の事業をはじめ、幅広く地方創生につながる事業を実施しました。

①若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合う まちをつくります

企業から提供された様々な素材を活用した「子どもアート工房」を令和5年7月からモデル事業として実施し、子どもたちの感性を刺激する新しい場所として市内の幼児教育施設や親子連れにご利用いただきました。

また、児童扶養手当受給世帯等に対して、小学生の体験活動を支援するクーポン券を交付し、子どもたちに多様な体験や活動の機会を提供しました。



②金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、 集うまちをつくります

「いしかわ百万石文化祭 2023」の一環として、子どもたちが文化に触れ、親しむ機会を創出するため、11月25・26日に「わくわく子ども国民文化祭」を開催しました。小中学生の親子が箏、三絃、バイオリンなどの音楽文化や、加賀宝生能、金沢素囃子、茶道、金箔貼り、和菓子作りなどの伝統文化を体験し、本市の文化への理解を深めました。

また、子どもたちが「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現の視点に加え、学校や地域で足元の課題解決を大事にしなが、自分達にできることを考え、実践できる持続可能な社会の担い手の育成を目指し、金沢らしいSDGsへの理解を深めました。



③イノベーションにより産業と雇用が創出される まちをつくります

「スタートアップ・新ビジネス創出事業」として、金沢未来のまち創造館に貸しオフィスやシェアオフィスのほか、コワーキングスペースや多目的室を設け、事業発表会や商談会、起業家セミナー、ワークショップ、技術交流会などの開催を通じ、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創造をめざす人たちを支援しました。

また、「子供の独創力育成事業」として、食や工芸などをテーマに、子供達の独創的なアイデアを育むとともに、将来を担う人材育成につなげるプログラムを実施しました。



④ 周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすい まちをつくります

金沢Ma a Sの基本理念に基づき、IoTやAIが可能とする新たなモビリティの導入を含め、多様な移動手段による移動と、移動の目的である買い物などの多分野のサービスがシームレスに提供される環境を整備し、全ての市民等が便利、自由、そして快適に移動できる都市づくりを目指しています。令和5年度は、公共交通の使いやすい環境を整備するため、デジタル交通サービス「のりまっし金沢」の時刻検索機能をリニューアルするとともに、これまで紙で配布していた「金沢まちなか交通ガイド」のデジタル版を搭載しました。



⑤令和6年能登半島地震で被災された方の支援 に取り組みます

令和6年能登半島地震の発生により、能登地方の被災地などにおいて生活物資が不足していた状況を踏まえ、避難所等での生活を余儀なくされている方々を支援するため、市民の皆様や企業、団体などからたくさんの救援物資を受け付け、被災地の自治体や市内に開設している避難所等に搬送しました。



お問い合わせ先

総務局 総務課

電話番号：076-220-2091

FAX 番号：076-260-6921

soumu@city.kanazawa.lg.jp